

## 密着取材「パター職人」の裏顔 ① こだわりゴルフクラブ

「ジャパンゴルフフェア」が2月24日から26日に行われ、多くの関係者、一般ゴルフファンがこの場所に足を運んだ。各メーカーが契約プロのトークショーなどで会場をにぎわす中、マルマンブースでは、パターデザイナーのデビッド・ウィットラムが来日し、同社と販売契約を結ぶ記者発表を行った。日本ではまだ知名度が低い「彼」だが、なぜ注目なのか。



## 歴史に名を残すパター造りの達人

「日本には『名刀』と世界から称賛される力が存在する。コンピュータも精密な最新の機器で分析すると、こだわり、削り出しから組みバランス、研磨された刃立てまで、パター造りのすべて（サイバ）、美しさなどすべての工程を頑なに手作業で、最高のレベルを示す」として、鍛冶職人、パター職人と呼ばれ、カナダ生まれのウィットラムに相応しい。こうして一木一本を造るパターには、まさに高い技術によって造られた名刀と同じ雰囲気を感じているのだ。そして現在、その名刀を徹底的にハンドメイドに



機器もなかった時代、鍛冶職人の経験と勘、そして神業とも言えるムが造るパターには、まさにゴルフフェアの会場でマルマン安藤会長、前田副社長の握手をかわすデビッド・ウィットラム

## 欧米では注目のマトに



魂を込めて造り上げられたパターは、余米の多くのゴルフファンに愛され、静かなブームを巻き起こしているのだ。そのウィットラムがマルマンと販売契約を結んだ。記者会見の中で彼は「マルマンは私の技術を理解し、職人として最高の敬意を払ってくれた。だから私はパター造りに専念できると感じたのです」と、マルマンと契約した理由を語った。

では、プレーヤーの誰もが持つ感性を引き出すことによって、正確なストロークを現実のものとする必要がある。さらに距離感というプレーヤーの思いをボールに伝えることもパターの使命である。ウィットラムの造るパターには、それらの機能と信頼感が吹き込まれている。まさに歴史に名を残すパター職人として欧米で注目を浴びるウィットラム。職人としてのパター造りの現場を取材班は目の当たりにするため、カリフォルニア州サンマルコスへと向かうことになった。

**来日会見が実現**  
ドライバーやアイアンは、最先端の技術と理論、そして新素材を駆使し、進化を続けている。しかし、パターに関

【取材協力】マルマン ☎ 03・3272・9404